

平成24年3月期 決算説明会

- I 平成24年3月期 連結業績概要
- II 平成25年3月期 連結業績見通し
- III 業績回復に向けて

平成24年5月25日
日本化学工業株式会社
Nippon Chemical Industrial CO.,LTD.

I. 平成24年3月期 連結業績概要

1. 平成24年3月期 連結業績

(単位:百万円)

	平成23年3月期	平成24年3月期	増 減	前年同期比 (%)
売 上 高	41,408	34,519	▲ 6,889	83
営業利益	1,380	▲ 792	▲ 2,172	—
経常利益	1,136	▲ 1,049	▲ 2,185	—
純 利 益	▲ 227	▲ 511	▲ 284	—

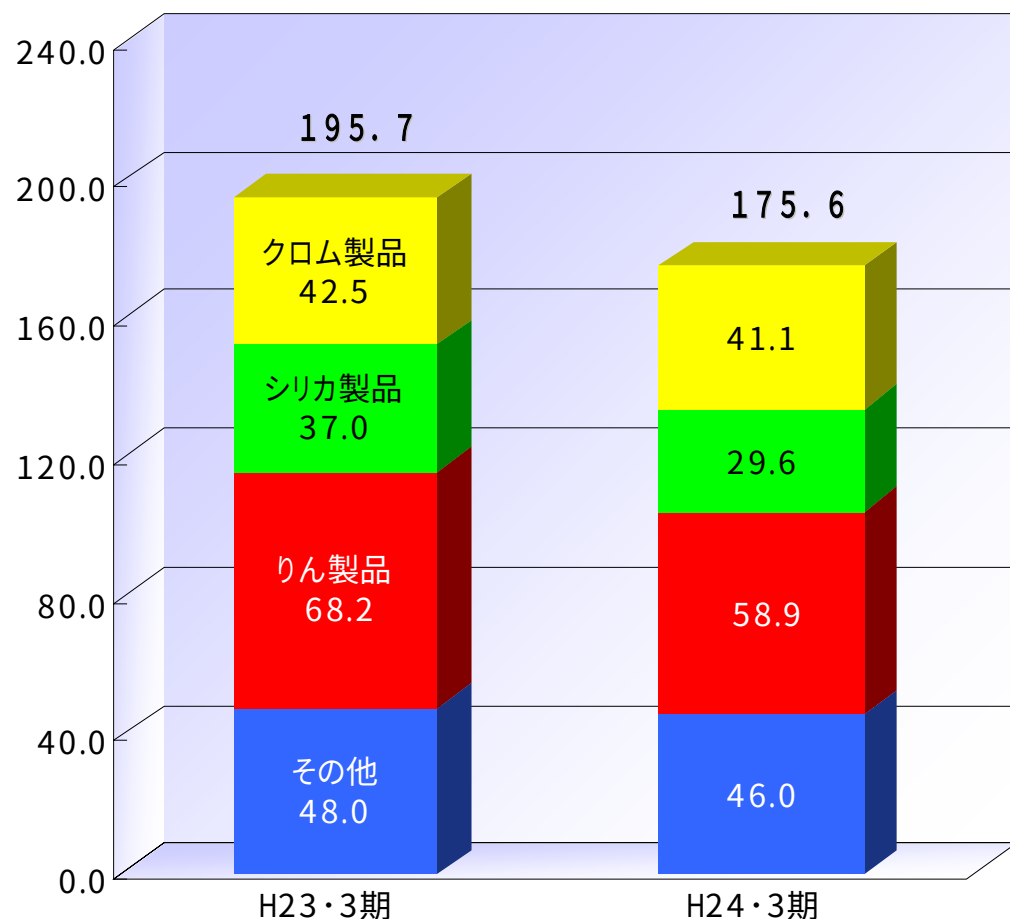
2. 平成24年3月期 事業別の収益

(単位:百万円)

	平成23年3月期	平成24年3月期	増 減	前年同期比 (%)
無機化学品事業				
売上高	19,570	17,562	▲ 2,008	90
営業利益	416	▲ 164	▲ 580	—
有機化学品事業				
売上高	5,307	3,372	▲ 1,935	64
営業利益	124	▲ 297	▲ 421	—
電材事業				
売上高	12,386	7,448	▲ 4,938	60
営業利益	509	▲ 881	▲ 1,390	—
賃貸事業				
売上高	515	511	▲ 4	99
営業利益	295	298	3	101
その他				
売上高	3,627	5,624	1,997	155
営業利益	14	233	219	1,664
合 計				
売上高	41,408	34,519	▲ 6,889	83
営業利益	1,380	▲ 792	▲ 2,172	—

3. 平成24年3月期 無機化学品事業の売上実績

(億円)



概況

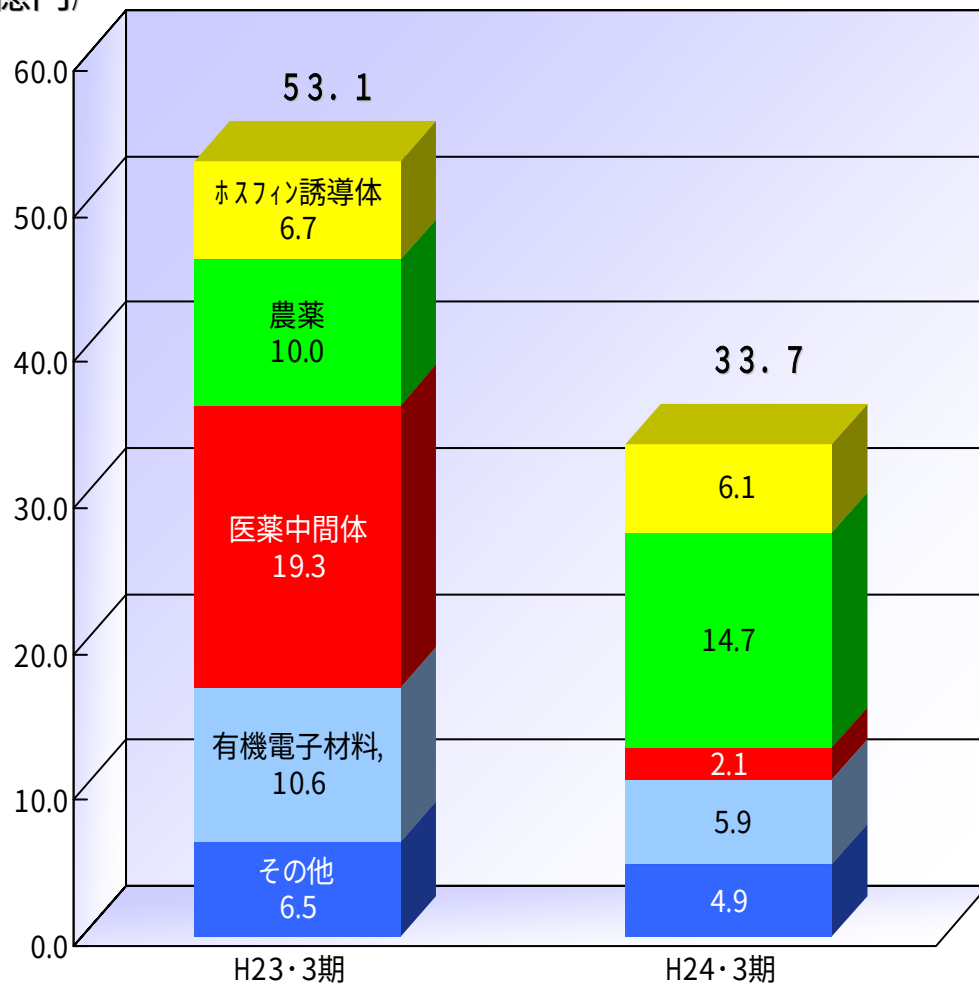
・ 堅調に推移

・ 震災の影響による出荷減

・ 液晶パネル、半導体向けで出荷減

4. 平成24年3月期 有機化学品事業の売上実績

(億円)



概況

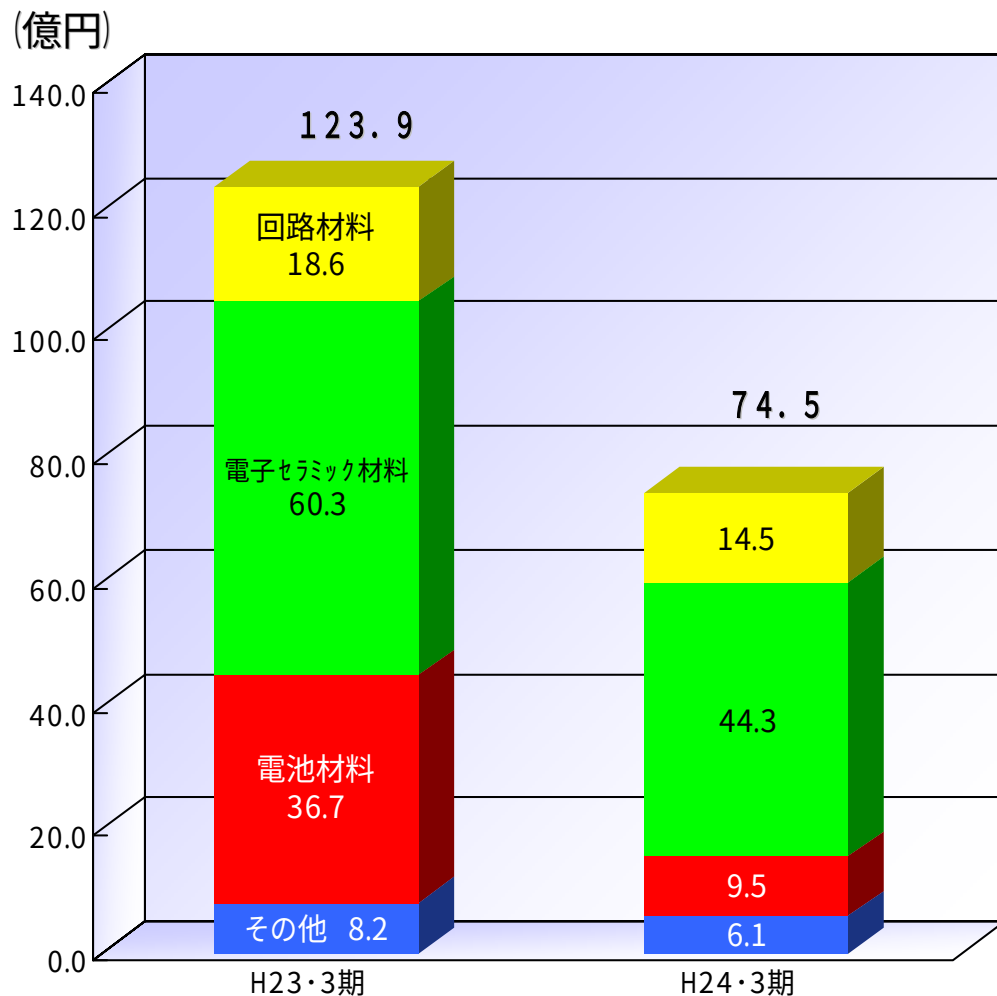
- 触媒用途向けが伸びず減少

- 需要の回復
- 新規上市

- 風評被害により大幅減

- 半導体向けの出荷減

5. 平成24年3月期 電材事業の売上実績



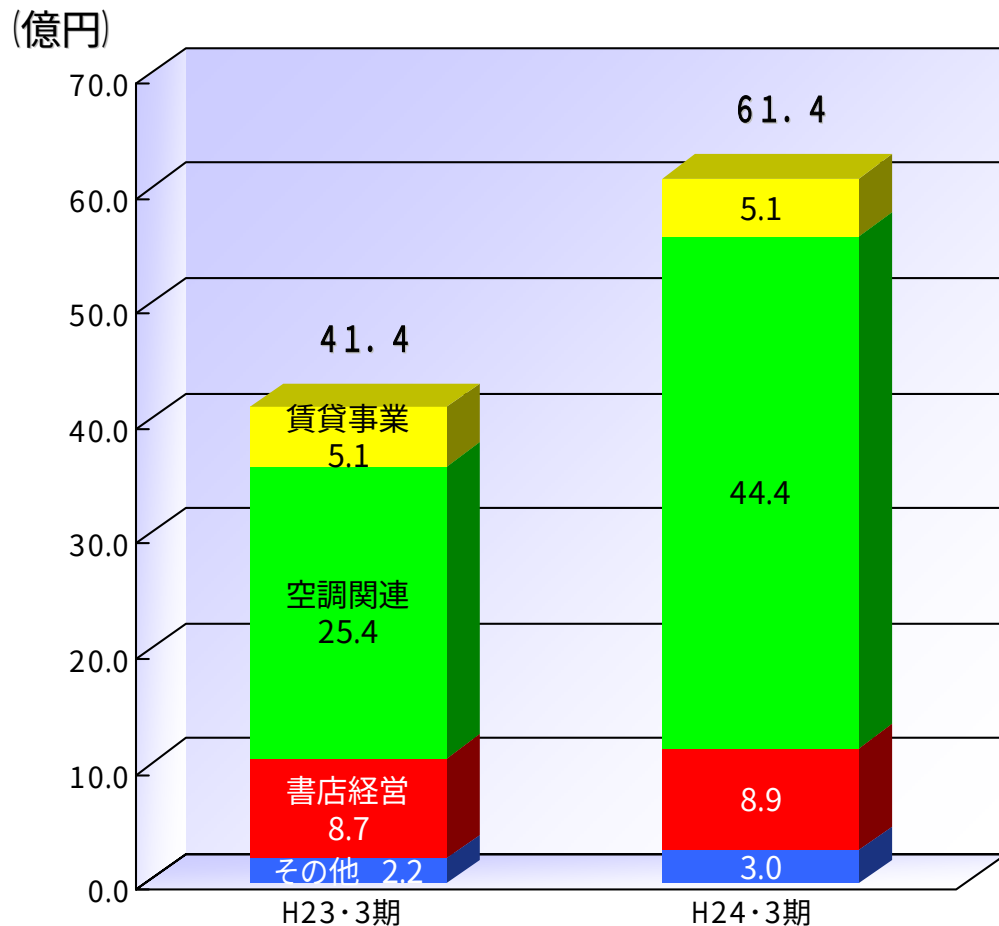
概況

・大型ディスプレイ向 需要伸びず

・在庫調整の影響
・販売価格の低下

・震災の影響

6. 平成24年3月期 賃貸事業及びその他事業の売上実績



概況

・ 堅調に推移

・ ケミカルフィルタの需要回復
・ 大型物件の受注

・ 堅調に推移

7. 連結貸借対照表 (資産の部)

(単位: 百万円)

	平成23年3月期末	平成24年3月期末	増 減
【資産の部】			
流動資産	25,884	25,658	▲ 226
現金及び預金	7,493	4,788	▲ 2,705
受取手形及び売掛金	9,171	9,701	530
たな卸資産	8,161	9,391	1,230
その他流動資産	1,059	1,778	719
固定資産	38,021	36,637	▲ 1,384
有形固定資産	32,520	31,252	▲ 1,268
無形固定資産	456	402	▲ 54
投資その他の資産	5,043	4,982	▲ 61
資産合計	63,905	62,296	▲ 1,609

8. 連結貸借対照表 (負債・純資産の部)

(単位:百万円)

	平成23年3月 期末	平成24年3月 期末	増 減
【負債の部】			
流動負債	21,170	20,593	▲ 577
支払手形及び買掛金	3,654	5,318	1,664
短期借入金	11,398	10,198	▲ 1,200
その他流動負債	6,118	5,077	▲ 1,041
固定負債	11,047	11,072	25
長期借入金	5,957	6,204	247
退職給付引当金	1,192	1,465	273
繰延税金負債	2,635	2,339	▲ 296
その他長期負債	1,263	1,064	▲ 199
負債合計	32,217	31,665	▲ 552
【純資産の部】			
株主資本	31,171	30,219	▲ 952
評価・換算差額等	516	410	▲ 106
純資産合計	31,688	30,630	▲ 1,058
負債・純資産合計	63,905	62,296	▲ 1,609

9. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	平成23年3月期	平成24年3月期	増 減	前期比 (%)
売上高	41,408	34,519	▲ 6,889	83
売上原価	33,987	29,486	▲ 4,501	87
販売費・一般管理費	6,040	5,826	▲ 214	96
営業利益	1,380	▲ 792	▲ 2,172	—
営業外収益	332	299	▲ 33	
営業外費用	576	556	▲ 20	
経常利益	1,136	▲ 1,049	▲ 2,185	—
特別利益	0	62	62	
特別損失	1,442	251	▲ 1,191	
税金等調整前純利益	▲ 305	▲ 1,239	▲ 934	—
法人税等	237	105	▲ 132	
法人税等調整額	▲ 315	▲ 834	▲ 519	
純利益	▲ 227	▲ 511	▲ 284	—

10. 連結キャッシュフロー計算書

	平成24年3月期
I 営業活動によるキャッシュフロー	1,816
税金等調整前四半期純利益	▲ 1,239
減価償却費	3,876
たな卸資産	▲ 1,229
その他	408
II 投資活動によるキャッシュフロー	▲ 3,121
設備投資支出	▲ 2,868
その他	▲ 253
III 財務活動によるキャッシュフロー	▲ 1,400
借入金を増減額	▲ 952
配当金支払い額	▲ 437
その他	▲ 11
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0
V 現金及び現金同等物の増減額	▲ 2,705
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,467
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,762

II.平成25年3月期 連結業績見通し

11. 平成25年3月期 連結業績見通し

(単位:百万円)

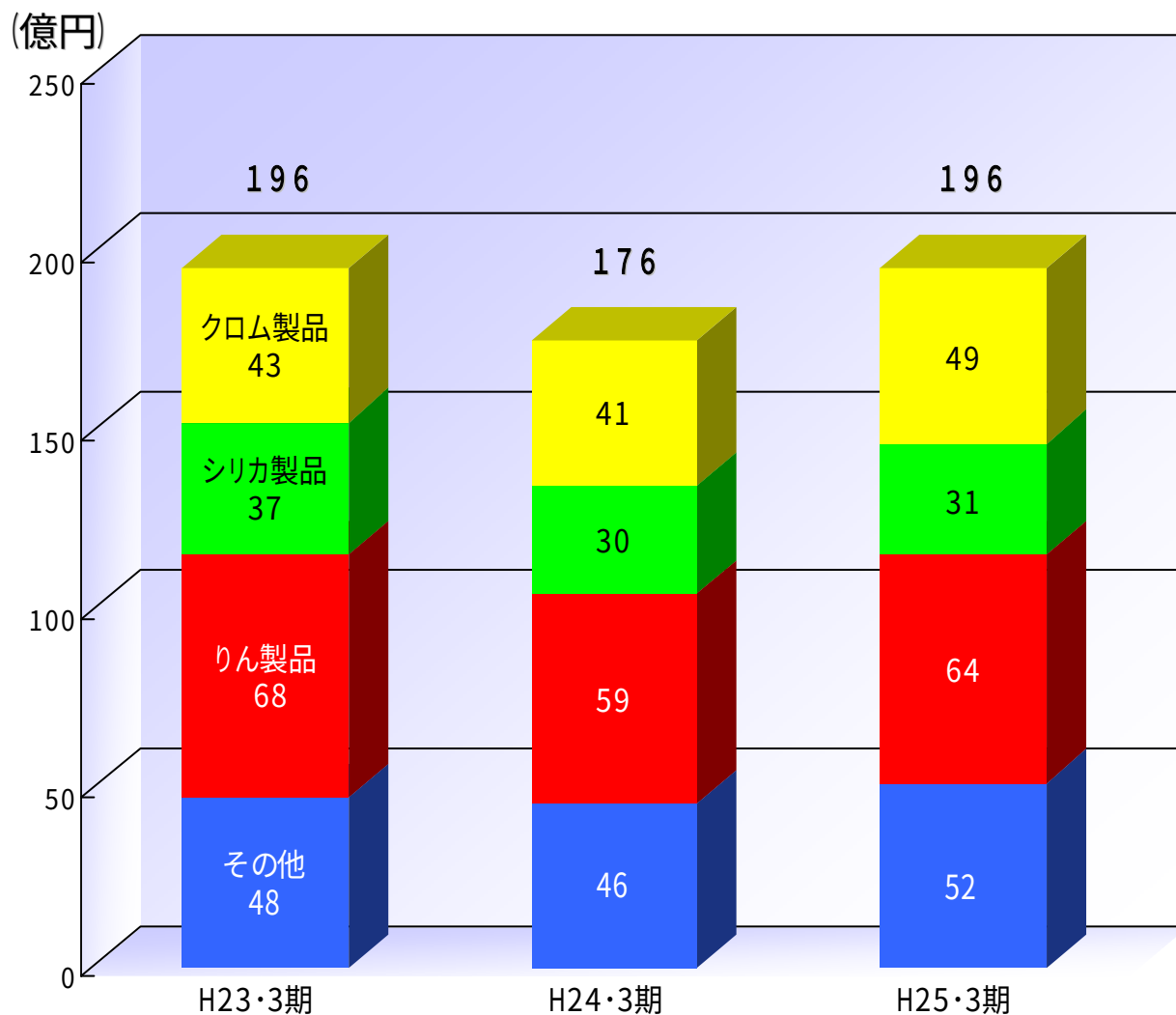
	平成24年3月期	平成25年3月期 見通し	増 減	前年同期比 (%)
売 上 高	34,519	36,600	2,081	106
営業利益	▲ 792	320	1,112	—
経常利益	▲ 1,049	140	1,189	—
純 利 益	▲ 511	60	571	—

12. 平成25年3月期 事業別の収益見通し

(単位:百万円)

	平成24年3月期	平成25年3月期 見通し	増 減	前年同期比 (%)
無機化学品事業 売上高 営業利益	17,562 ▲ 164	19,560 730	1,998 894	111 —
有機化学品事業 売上高 営業利益	3,372 ▲ 297	3,995 ▲ 258	623 39	118 —
電材事業 売上高 営業利益	7,448 ▲ 881	8,780 ▲ 580	1,332 301	118 —
賃貸事業 売上高 営業利益	511 298	512 294	1 ▲ 4	100 99
その他 売上高 営業利益	5,624 233	3,753 134	▲ 1,871 ▲ 99	67 58
合 計 売上高 営業利益	34,519 ▲ 792	36,600 320	2,081 1,112	106 —

13. 無機化学品事業の売上推移・見通し



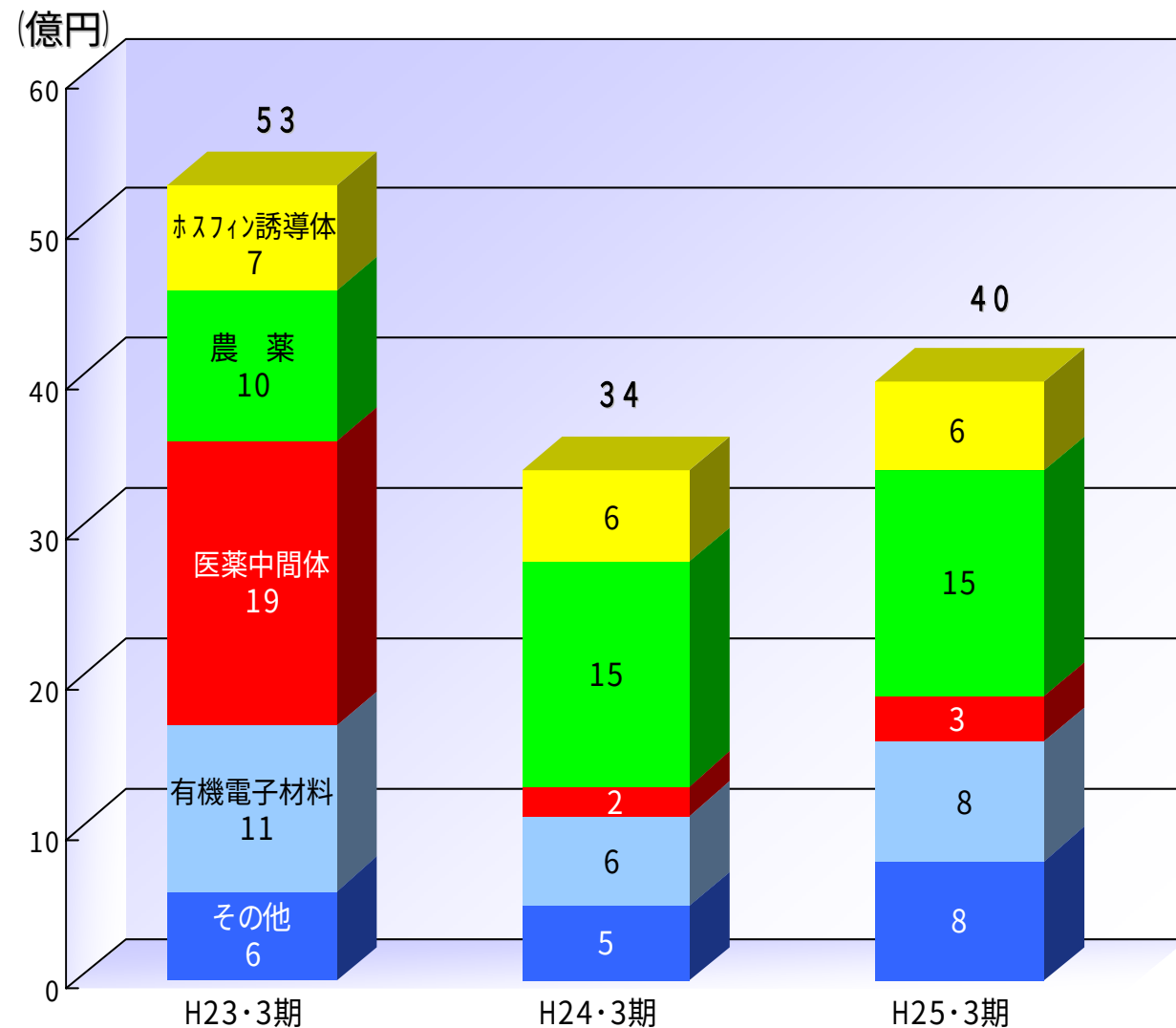
・自動車業界等の回復
・事業譲受け効果

・工場再編の終了

・電池関連向 出荷増

・電池関連向 出荷増

14. 有機化学品事業の売上推移・見通し



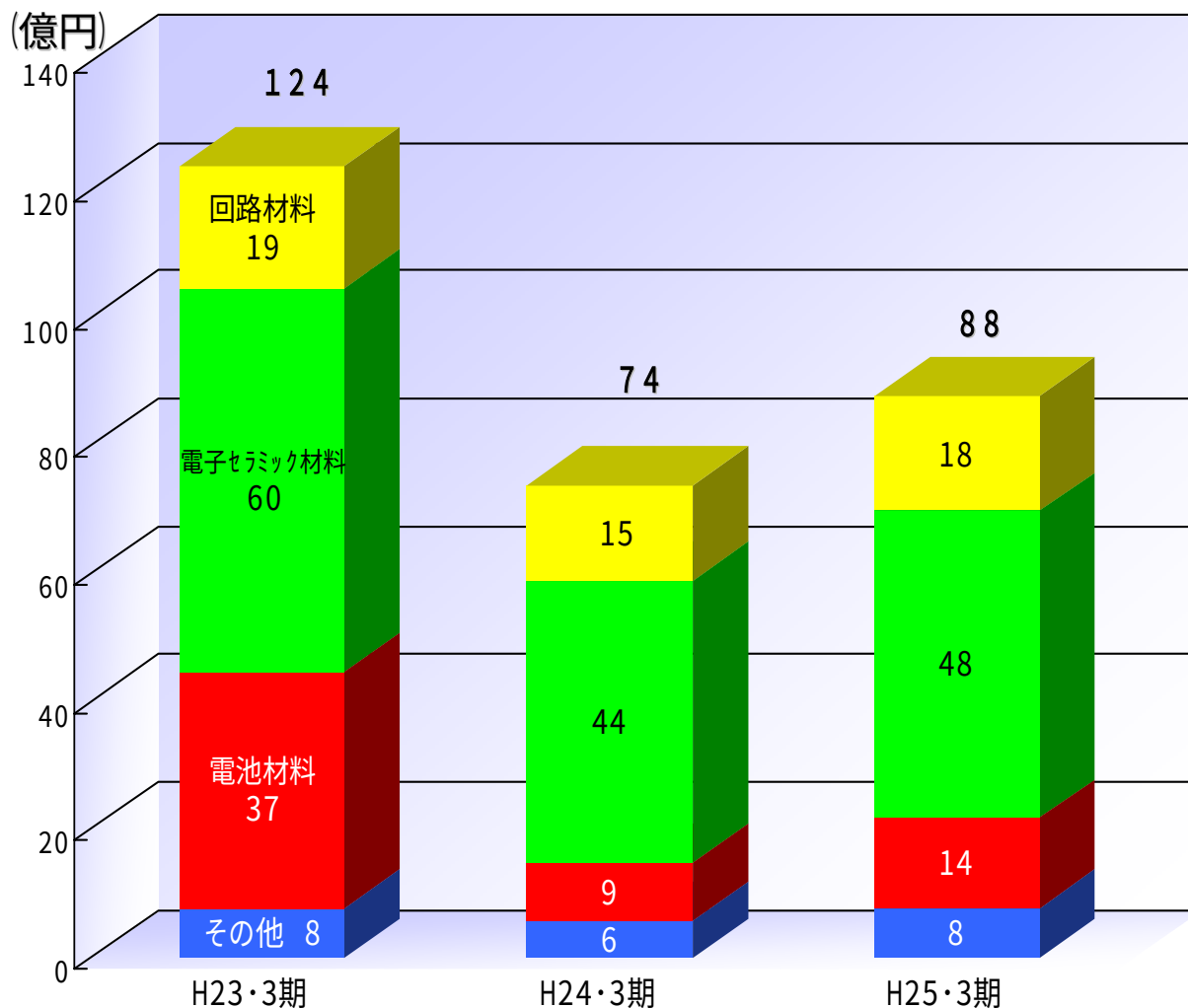
・堅調に推移

・順調に推移

・新製品開発

・半導体業界の回復を見込む

15. 電材事業の売上推移・見通し



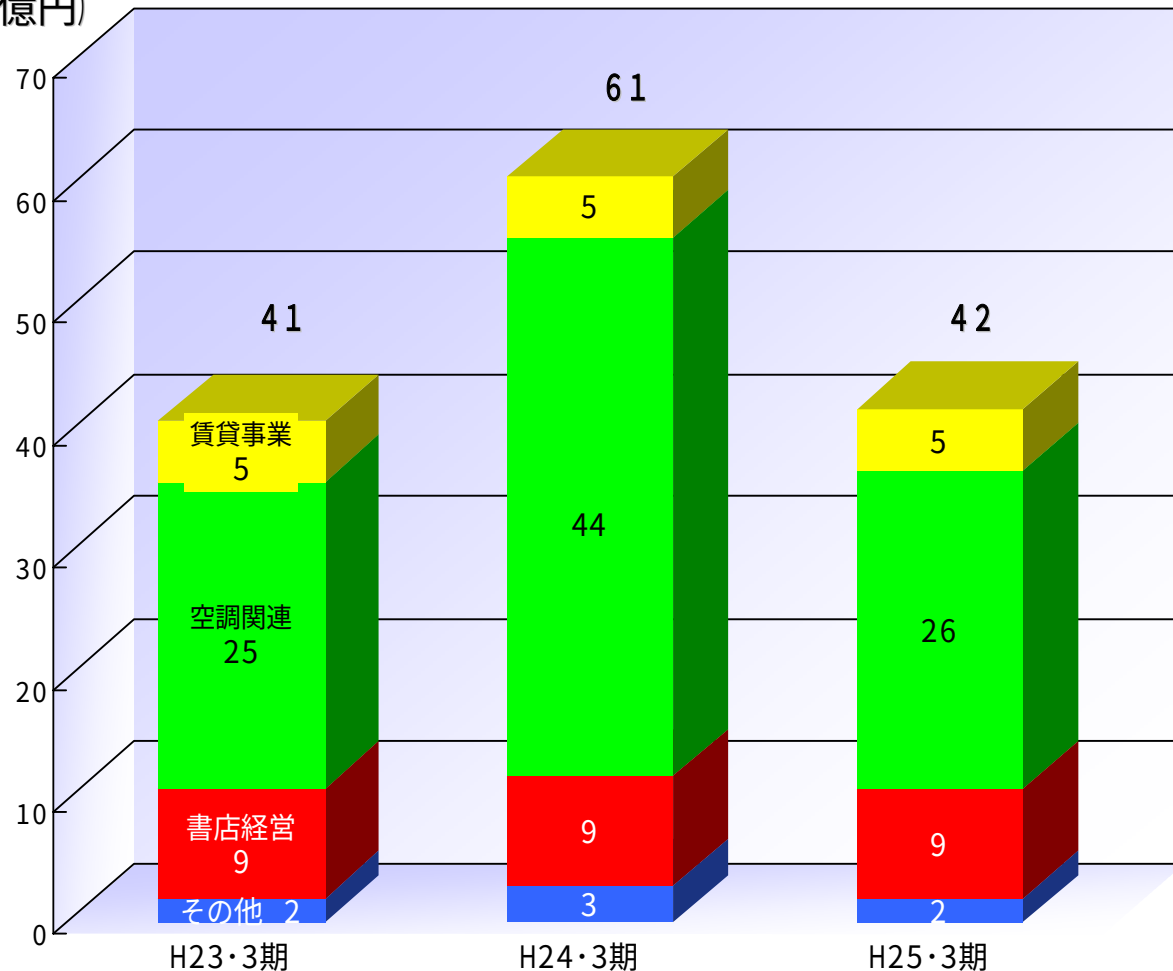
・タッチパネル向等の回復見込

・高容量グレード 出荷増

・新規ユーザー向 出荷見込

16. 賃貸事業及びその他事業の売上推移・見通し

(億円)

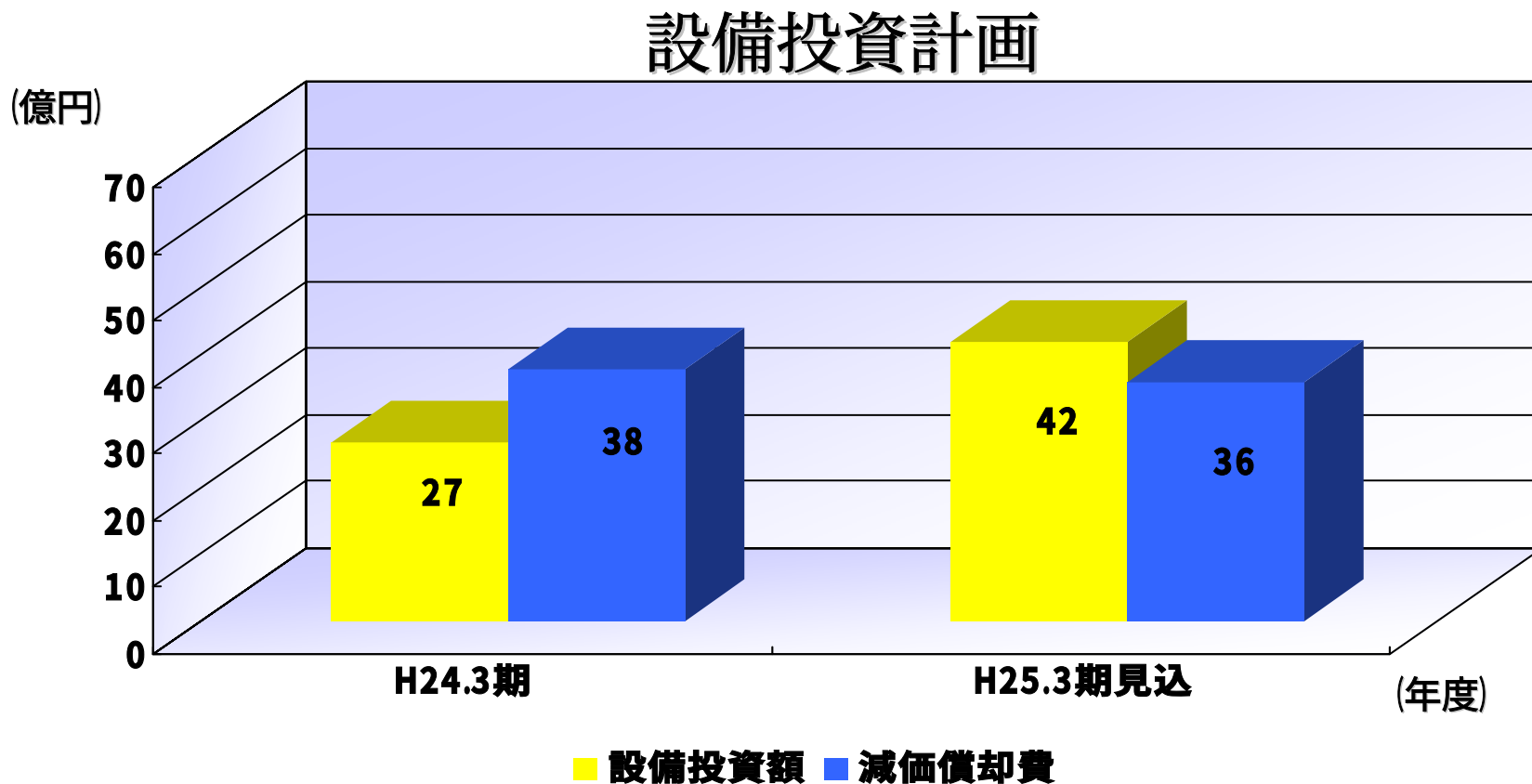


賃貸事業 堅調

大型物件 受注見込めず

書店経営 堅調

17. 設備投資計画



III.業績回復に向けて

18. 有機電子材料の設備投資計画

設備投資計画の内容

製品名：高純度ホスフィンガス

用途：LED・太陽電池等の半導体用原料（ドーパント材）

場所：福島第二工場（福島県三春町）

目的：高圧ガス関連法規の容器の充填率規制が緩和され、国際輸送に関わる不利が解消になり、輸出拡販が可能になったことによる増設

投資額：約10億円（計画）

※ふくしま産業復興企業立地補助金認可（平成24年5月11日）

売上寄与時期：平成25年上期予定

→ 有機化学品事業の業績回復に繋がります

19. クロム塩事業譲受けによる効果

1. 譲受け事業の概要

(1) 譲受け事業

日本電工株式会社のカロム塩事業 (副生芒硝 を含む)

(2) 譲受け事業の規模

売上高 約29億円 (平成22年1月～平成22年12月)

(3) 事業譲受け日

平成24年12月末日を目処とする

2. 譲受けによる効果

- ・売上及び利益の増加が見込まれる。
- ・工場稼働率が上昇し、原価が低減する。
- ・スケールメリットを活かし、海外市場への積極展開が可能となる。

20. 西淀川工場跡地の再開発

1. 現在の状況

- ・4月13日付で都市計画、用途地域変更、防火地域変更が告示され、同地区の開発が正式に可能となる。
- ・解体工事は順調。

2. 再開発の内容

(1) 事業内容

阪神なんば線福駅前という立地を活かし、商業施設と病院施設を建設し、賃貸事業を行う。

(2) 完成時期 (予定)

商業施設：平成25年下期 病院施設：平成27年上期

(3) 事業規模 (計画)

売上 (賃料収入)：360百万円/年

21. 熱電変換材料の工業化

開発内容

材料名：マンガン酸カルシウム (n型材料)

コバルト酸カルシウム (p型材料)

特徴：800℃以上の高温域でも使用可能

高温における耐酸化性に優れ、

高い発電効率を発揮

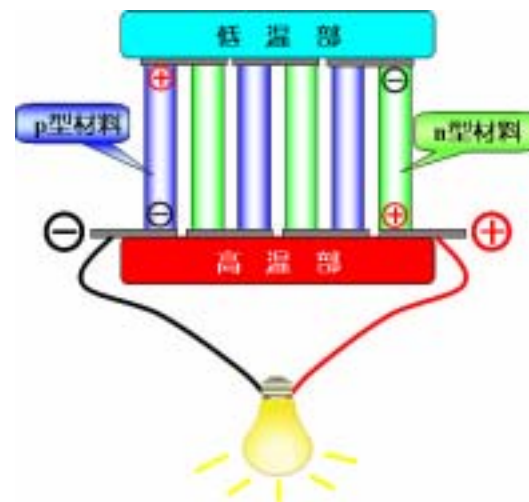
供給先：TESニューエナジー社

(産総研ベンチャー企業)

使用場所：工場や焼却炉の廃熱、

発電プラント配管の放熱 etc.

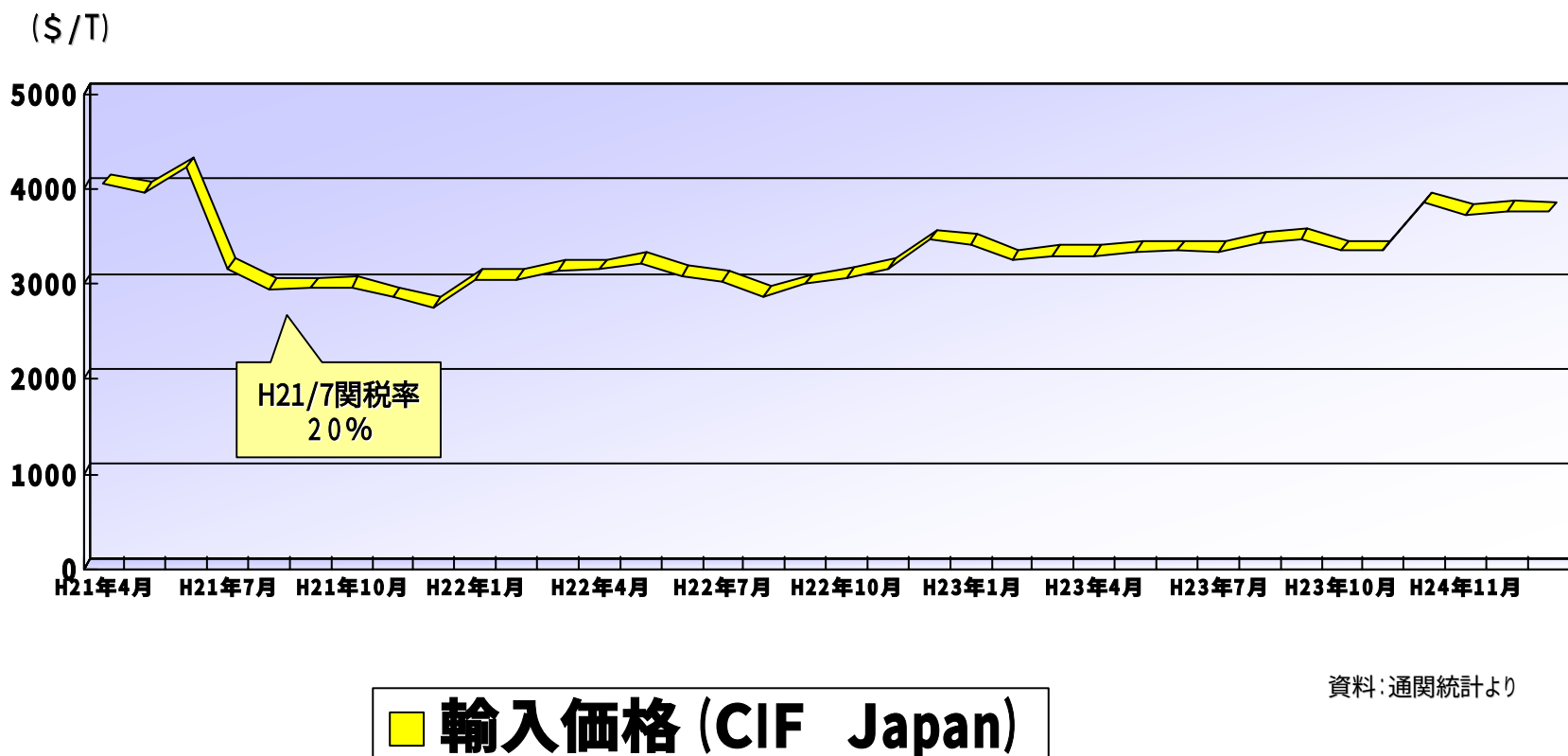
→ この材料のトップメーカーを目指します



おことわり

当資料に記載されている業績予想・事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から種々の前提に基づいて当社が作成したものです。記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありませんので、ご承知おき下さい。

(参考資料①) 中国黄燐の輸入価格の推移



資料:通関統計より

(参考資料②) コバルト価格の推移

